

(様式1)

## 令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県花総合センター 農産食品課

2 施設所在地  
砺波市高道46-3

3 施設設置年度  
昭和62 年度

4 設置目的  
県民に花の栽培技術及び活用方法その他花に関する情報を総合的に提供し、もって県内における花の生産の拡大と県民の花に親しむ意識の高揚を図る。

5 施設概要  
主な施設  
・本館：鉄筋コンクリート2階建 775.4m<sup>2</sup>  
・展示温室：鉄骨造2階建 501.41m<sup>2</sup>  
・作業管理棟：鉄骨造平屋建 236.03m<sup>2</sup>  
・栽培温室：鉄骨造平屋建（4棟） 453.6m<sup>2</sup>  
・モデル化花壇 10面 1,031m<sup>2</sup>

6 指定管理者  
公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団

7 指定期間  
5 年  
平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
96,900	100,700	100,500	100,500	98,000

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
785	1,109	1,130	1,152	1,128

#### 【参考】用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・新型コロナウイルス感染拡大による施設の一時休館などがあったことを受け、全体として来園者は令和2年度より減少した。  
・令和2年度と比較して、会議室利用の件数等が同程度であったことから使用料収入は同程度に、一方でビオラ等花壇苗やスイセンなどの生産物売払収入が令和2年度よりやや減少したことから、全体として収入は減少した。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・「生産者から学ぶ」と冠したオープン講座(年5回)を実施。  
・花まつり期間に、生産者による花苗の販売と寄せ植え体験等を実施し、栽培のコツを直接指導するなど生産者と消費者の交流の場を設けた。  
・新型コロナウイルス感染症対応のため、展示ホール入り口や講座実施時の受付にサーマルカメラを設置し、円滑な検温を実施した。

### (3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・園芸講座を年43回開催、近隣施設での園芸講座へ講師派遣し、施設連携を実施。  
・本館展示ホールにて花まつりや季節ごとのテーマを設け、1年間に9回の展示を実施した。  
・年間の催し物案内と花ごよみを記載したパンフレットを作成し、花まつりや季節展示について各機関を通して広くPRするとともにHPやブログ等で随時見ごろの花やイベントの告知を行った。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：本館1階ホールにアンケートコーナーを設置し、記載者に花の種等プレゼントを準備。
回答者数	86人
結果	「良かった」が75件、「まあ良かった」が8件と全体の約96%以上を占めた。
結果を踏まえた改善事項	・的確な情報発信により、施設等の認知度の向上を図り、新規来園者の増加に努めるとともに、他の植物園関連施設との差別化を図り、ニーズに合った展示内容を実施していくことでの、リピーター層の拡大に努める。 ・来園者の多くを占めるシニア層に対して安全安心な施設整備に努める。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

ホームページの問い合わせメール

#### ③ 主な苦情と対応

無

### (5) 個人情報保護の取組み

講座の受講者等の個人情報は厳重に管理している。

(6) 関係団体との連携

・「砺波チューリップ公園」、「チューリップ四季彩館」や「砺波市美術館」、「砺波市観光協会」、「道の駅砺波」等と連携し、パンフレット設置について協力を得たほか、「園内ぐるり会」での情報交換を実施。  
・「チューリップ四季彩館」が開催する「第36回春を呼ぶチューリップ展」に合わせて「早春を彩る花まつり2022 春の香りを集めて」を開催するなど引き続き連携を強化した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

警備保障会社への再委託により、防犯、火災、設備監視等を適切に実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	4
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

新規来園者の来園がやや増加しているものの、リピーターの割合がやや減少傾向であることから、リピーターを確保していく工夫が求められる。また、現在の来園者の多数は高齢者であることを踏まえ、園内環境の整備に一層努めていく必要がある。